

市長定例会見

令和5年7月12日（水曜日）10時00分～

- 1 「こどもおしごとチャレンジ」の取組について
- 2 民間主導型アンテナショップの設置について



三原市



「こどもおしごとチャレンジ」コンセプト

こどもおしごとタイケン



しごとは、たのしいからはじまる。

「こどもおしごとチャレンジ」コンセプト



しごとは、たのしいからはじまる。

こどもおしごとチャレンジの概要

- (1) 対象 小学生（主に、小学3～6年生）
- (2) 目的 体験を通じて、楽しみを提供
将来に向けて視野を広げるきっかけづくり
子どもの成長を支援
- (3) 手段・成果 「仕事体験」+「楽しさ」
- ・近隣では経験できない体験・職業にも出会える
 - ・いろいろな職業に興味を持つ
 - ・将来、社会人・職業人として自立していくための意欲・態度や能力を身に付けるきっかけとなる
- (4) 実施場所 ペアシティ三原西館を中心に、本郷生涯学習センター、くい文化センター、大和文化センター など

こどもおしごとチャレンジの概要

	名称	概要
1	こどもおしごとチャレンジ講座 「FUNチャレンジ」の開催 予算額：10,000千円	<ul style="list-style-type: none">・仕事体験講座や職場体験を実施・毎月、土・日曜日を基本に定期開催・市内外の各種企業・事業者等と連携・第1回講座を7/23(日)開催。7/18(火)17時まで申込受付中
2	こどもおしごとオンライン講座 「FUNオンライン」の開催 予算額：2,000千円	<ul style="list-style-type: none">・楽しみながら、将来の仕事・職業への関心や探求心を育むオンライン講座を開催（月1回ライブ配信）・社会で活用できる知識などを学ぶ・第1回ライブ講座を7/28(金)開催。7/25(火)17時まで申込受付中
3	こどもおしごと体験イベント 「FUNフェスティバル」の開催 予算額：2,000千円	<ul style="list-style-type: none">・企業等の取組から仕事・職業等を学ぶイベント（年1回開催）・子どもとさまざまな企業・会社との出会いの創出・セミナー・講演形式、展示・ブース形式で、11/19(日)に開催予定
4	こどもおしごと学びの拠点づくり 映像コーナー 「FUNスポット」の設置など 予算額：6,000千円	<ul style="list-style-type: none">・ペアシティ三原西館2階 児童館「ラフラフ」隣接の談話ホールに映像コーナーを設置・7/23(日)14時～ オープン・あわせて、仕事・職業を紹介する映像、講座の様子や告知などの映像の制作・発信・映像は、コーナーやYouTubeで視聴可能

「こどもおしごとチャレンジ」の取組について



体験講座「FUNチャレンジ」の概要



項目	内容
開催回数	・体験講座：月3回程度 計25回以上 ・職場体験：月1回程度 計 9回以上 ・連続講座（企画～準備～実践）全 3回 計37回以上
開催曜日	年間を通じて、毎月土・日曜日を基本に定期開催。夏休みなどは平日にも開催
開催場所	・ペアシティ三原西館（市民ギャラリー、児童館、会議室など） ・本郷生涯学習センター、くい文化センター、大和文化センター ・各企業・事業者等の職場 など
対 象	小学生（※市内在住・在学を優先）
参加費	無料
講 師	市内外の各種企業・事業者など
申込方法	WEB, LINE, 電話（申込多数の場合抽選）



▲仕事体験（イメージ）

「こどもおしごとチャレンジ」の取組について



体験講座「FUNチャレンジ」の7・8月の内容

日時	場所	定員・対象	内容
7/23 (日) 14:30~16:45	ペアシティ 三原西館	①小学3~6年生・ 保護者 120名 ②小学3~6年生60名 (15名×4職種)	①オープニング講演 60分 講師：気象予報士・気象キャスター 勝丸 恭子 氏 演題：天気予報のおしごと ②体験講座 60分 職種：スイーツ開発者, ウェディングプランナー, フラワーデザイナー, キャンドルアーティスト
7/30 (日) ①11:00~12:00 ②13:00~14:00	広島空港	①小学1~3年生30名 ②小学4~6年生30名	JAL連携「空育 お仕事講座」 ①体験講座(クイズ形式)・折り紙ヒコーキ教室 60分 ②体験講座 60分 職種：航空会社客室乗務員
8/6 (日) 13:30~16:00	ペアシティ 三原西館	小学3~6年生120名 (1講座15名×4職種×2回転)	体験講座 60分×2回転 職種：チョークアーティスト, アロマセラピスト, 舞台俳優, 建築家
8/7 (月) 14:00~16:00	三原市役所	小学5・6年生10名	体験講座(市長のおしごと 市長業務の説明・体験など) 2時間 職種：市長
8/22 (火) 7:00~12:00	須波港 ~瀬戸内海	小学4~6年生10名	職場体験(タコつぼ漁, 映像視聴など) 5時間 職種：漁業従事者
8/24 (木) 10:00~12:00	三原税務署	小学5・6年生15名	職場体験(職場見学, 映像視聴, 税関係事務体験など) 2時間 職種：税務署職員
8/26 (土) 10:00~12:30	ペアシティ 三原西館	小学3~6年生120名 (1講座15名×4職種×2回転)	体験講座 60分×2回転 職種：フードスタイリスト, シンガーソングライター, 薬剤師, 販売業(寝具)



子どもたちが参加したくなる仕組みづくり

講座などに参加した子どもたちへのオシゴトグッズの配付



▲オシゴトカバン



▲オシゴト社員証



▲オシゴト通帳 (スタンプカード)



「こどもおしごとチャレンジ」の取組について



オンライン講座「FUNオンライン」の概要



項目	内容
日時	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年7月～令和6年2月, 新規講座月1回 毎月第4金曜日 17時～17時40分 (1回40分) ライブ配信 7月のライブ講座は28日(金)開催
方法	<ul style="list-style-type: none"> オンライン 録画の視聴は随時可能
対象	市内在住・在学の小学3～6年生
参加費	無料
内容	仕事・職業の紹介, 社会の仕組み, ビジネス, お金の流れなどを学ぶオンライン講座
申込方法	WEB, 電話
その他	児童館 談話ホールの映像コーナー等でも録画を配信予定



▲▼オンライン講座 (イメージ)



「こどもおしごとチャレンジ」の取組について



オンライン講座「FUNオンライン」の概要



7月 ①仕事・職業を学ぶ！講座



仕事・職業を学ぶ
業種と職種の違いについて学び、働く選択肢の多様性を学びます。

8月 ②社会の仕組みを学ぶ！講座



社会の仕組みを学ぶ
世の中の成り立ちや、経済の仕組みを学び、社会への理解を深めます。

9月 ③ビジネスを学ぶ！講座



働くことの大切さを学ぶ
ビジネスとはどういうことを学び、会社の役割や働くことの大切さを学びます。

10月 ④マネーリテラシー講座



お金の流れを学ぶ
お金の流れや仕組みを学び、経済の成り立ちを理解します。

11月 ⑤マーケティング講座



マーケティングを学ぶ
みんなが、どんな商品を買いたと思うのかを分析し商品が開発される仕組みを学びます。

12月 ⑥プレゼンテーション講座



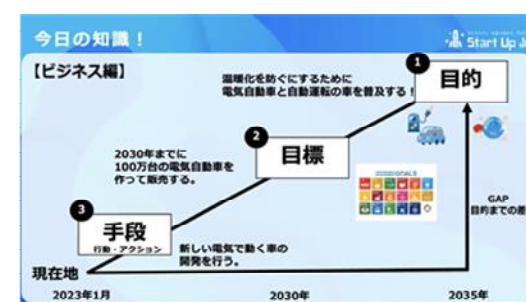
プレゼンテーションを学ぶ
自分の考えを明確に伝えるコツや共感を得る伝え方を学びます。

1月 ⑦起業スタートアップ講座



起業・スタートアップについて学ぶ
会社を立ち上げることや、事業計画のつくり方を学びます。

2月 ⑧未来キャリア講座



自分の未来のキャリアを考える
人生のアクションプランを考え、目的、目標、行動の大切さを学びます。

「こどもおしごとチャレンジ」の取組について



体験イベント「FUNフェスティバル」の概要



項目	内容
日時	令和5年11月19日（日）13時～16時（予定）
場所	ペアシティ三原西館 市民ギャラリー・児童館など
対象・定員	小学1～6年生・保護者 計200名（市内在住・在学を優先）
参加費	無料
出展	企業8社程度
内容	・セミナー・講演形式での「仕事」「職業」「企業の取組」などについての学びの提供 ・展示ブース形式での学び・体験の提供
申込方法	WEB, 電話（申込多数の場合抽選）



▲▼フェスティバル（イメージ）



映像コーナー「FUNスポット」の概要

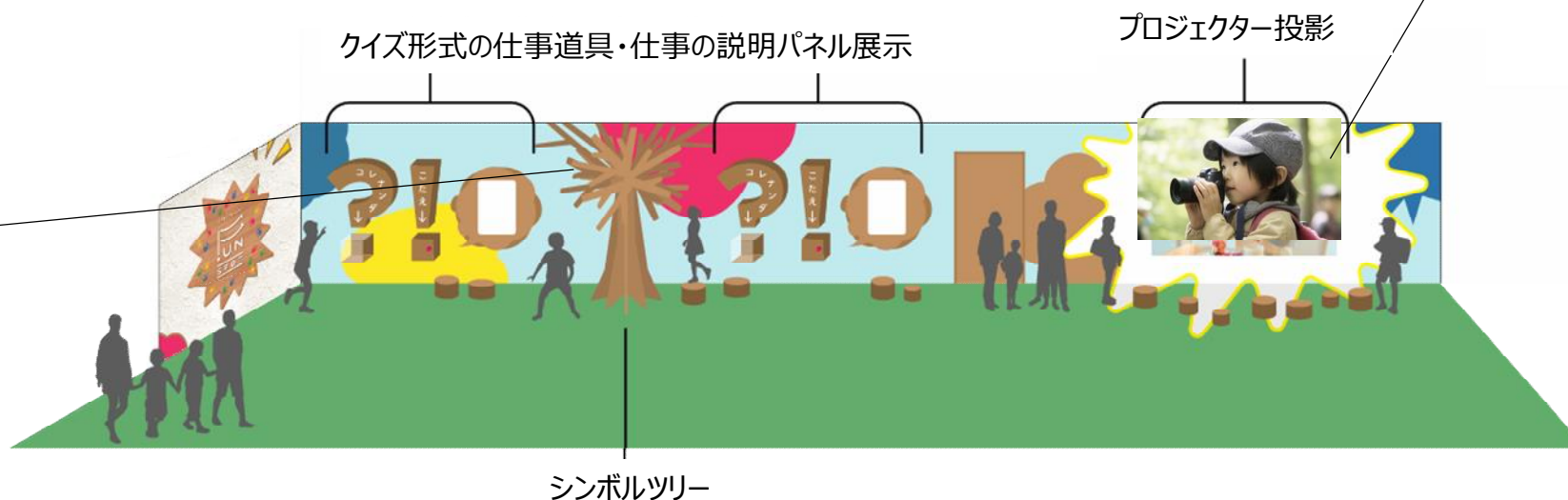


- ・ペアシティ三原西館2階 児童館「ラフラフ」隣接の談話ホールに設置
- ・コーナーは、子どもたちが仕事・職業を発見できる場所で、公園のような雰囲気演出
- ・プロジェクター投影、クイズ形式の展示、仕事の説明パネルなどを設置
- ・シンボルツリーには、講座に参加した子どもたちの将来の夢や仕事を描いた短冊、写真などの吊り下げが可能
- ・7/23(日)14時に、第1回仕事体験講座の開催にあわせてコーナーをオープン。

オープンに先立ち、13時から、イラストレーターとのシンボルツリーの飾り付けイベントを開催（予約不要）



▼シンボルツリー飾りつけ（イメージ）



「こどもおしごとチャレンジ」の取組について



仕事等を紹介する映像「FUNチャンネル」の概要

- ・子ども向けに、仕事・職業や企業の取組などを紹介する映像「FUNチャンネル」を順次、制作・配信
- ・映像は、映像コーナー「FUNスポット」やYouTubeで視聴可能



▲仕事を紹介する映像（イメージ）



▲市内企業や職場を紹介する映像（イメージ）



▲体験講座の様子を紹介する映像（イメージ）

こどもおしごとチャレンジ

おしごと体験講座

7月28日 13:00～ フラワーアレンジメント
7月28日 13:00～ フラワーアレンジメント
7月28日 13:00～ フラワーアレンジメント

おしごと職場体験

7月28日 13:00～ 今治造船広島工場

体験講座の参加はLINEで簡単予約!

LINEで簡単予約!

友達登録で講座の情報も届く!

▲体験講座の告知映像（イメージ）

プロモーション動画による情報発信

- ・7月1日から、新たに制作した動画により、おしごとチャレンジの取組の告知を開始
- ・動画は、市内の子どもたちが登場し、いきいきと仕事を体験する様子を撮影
- ・おしごとチャレンジの魅力を広く発信するとともに、仕事体験講座への参加を促進



三原市の未来を拓くイノベーション



関係人口の創出



情報発信の拠点



インバウンド



交流人口の拡大



そして三原市は・・・

広島県外の事業者や団体と共有したビジョンに向かって、【ともに課題解決に取り組み】、かつ、【スピード感を持った対応ができる】自治体です。

《実績紹介》



■デロイト トーマツ グループ
ワーケーションプログラムの開発および実証



■wash-plus
首都圏での地方自治体アンテナショップの実証



■台湾出身プロボノ
観光プロモーション動画の制作および発信



■sleek water
ケーブルパーク（水上スポーツ）の実証

今夏実証に向けて調整中！



首都圏での地方自治体アンテナショップ実証

《株式会社wash-plus》

コインランドリー事業を、首都圏を中心に店舗展開。店舗の一部を活用する店舗併設ランドリーをベースに、今回の取り組みへ発展。



人と地球にやさしい未来を

wash+

民間企業から発信する「地域づくり」

はじめに

私たちwash-plusは『コインランドリー』を提供している会社ではありません。

弊社が提供する商品は

技術

ノウハウ

特許

(オリジナリティー)

PURPOSE

人と地球にやさしい未来を

▶100年先も、誰もが安心して暮らせる世界をつくります

会社概要

社名 株式会社wash-plus (ウォッシュプラス)
代表取締役 高梨 健太郎
所在地 〒279-0004 千葉県浦安市猫実1-9-5
設立 2013年5月
資本金 7,100万
従業員 21名

スマートランドリーシステム



導入
店舗数 **322**店

アプリ
DL数 **28**万人超

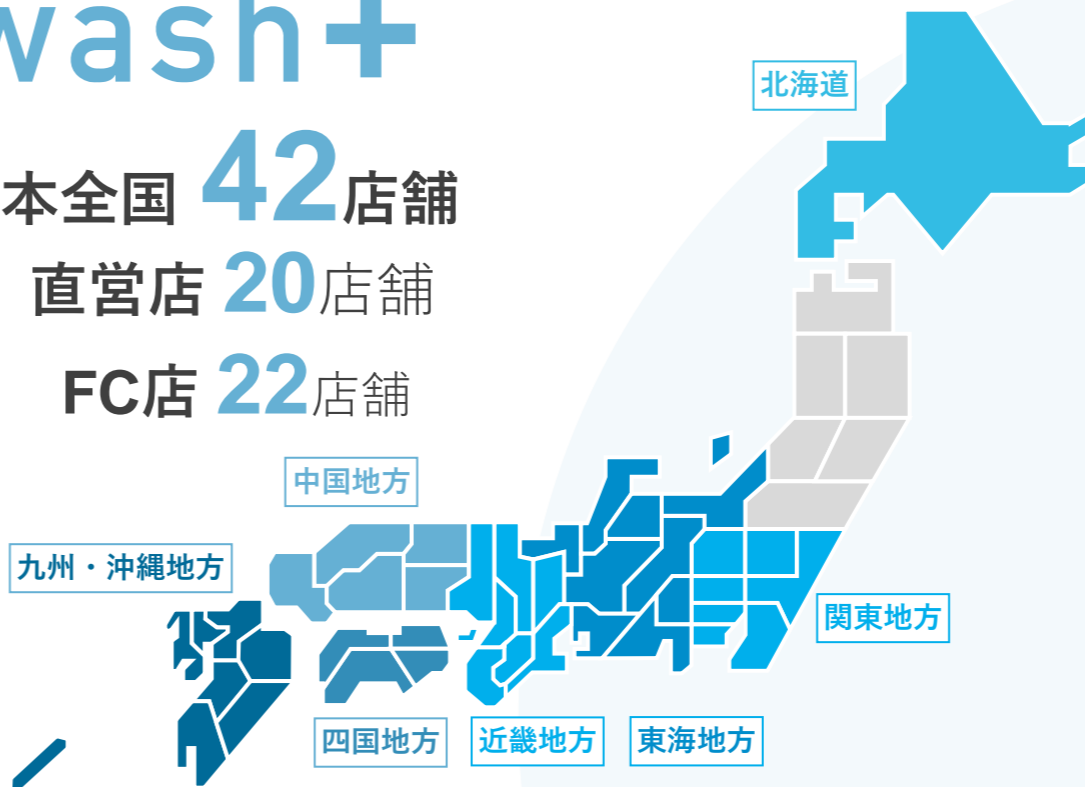
コインランドリー「wash+」

wash+

日本全国 **42**店舗

直営店 **20**店舗

FC店 **22**店舗



2023年6月23日現在

技術を守る戦略

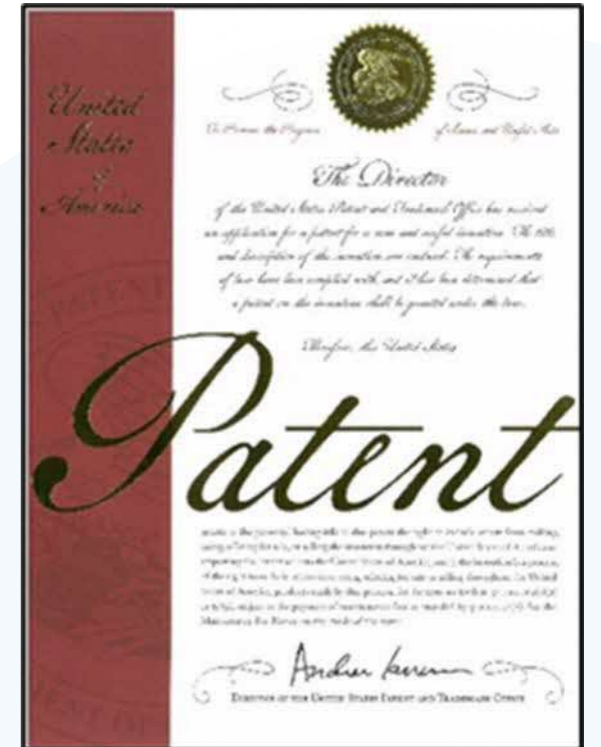
アルカリイオン電解水で洗う技術特許

国内2件 アメリカ1件 取得済 その他申請中特許25件

循環式洗濯機の技術特許

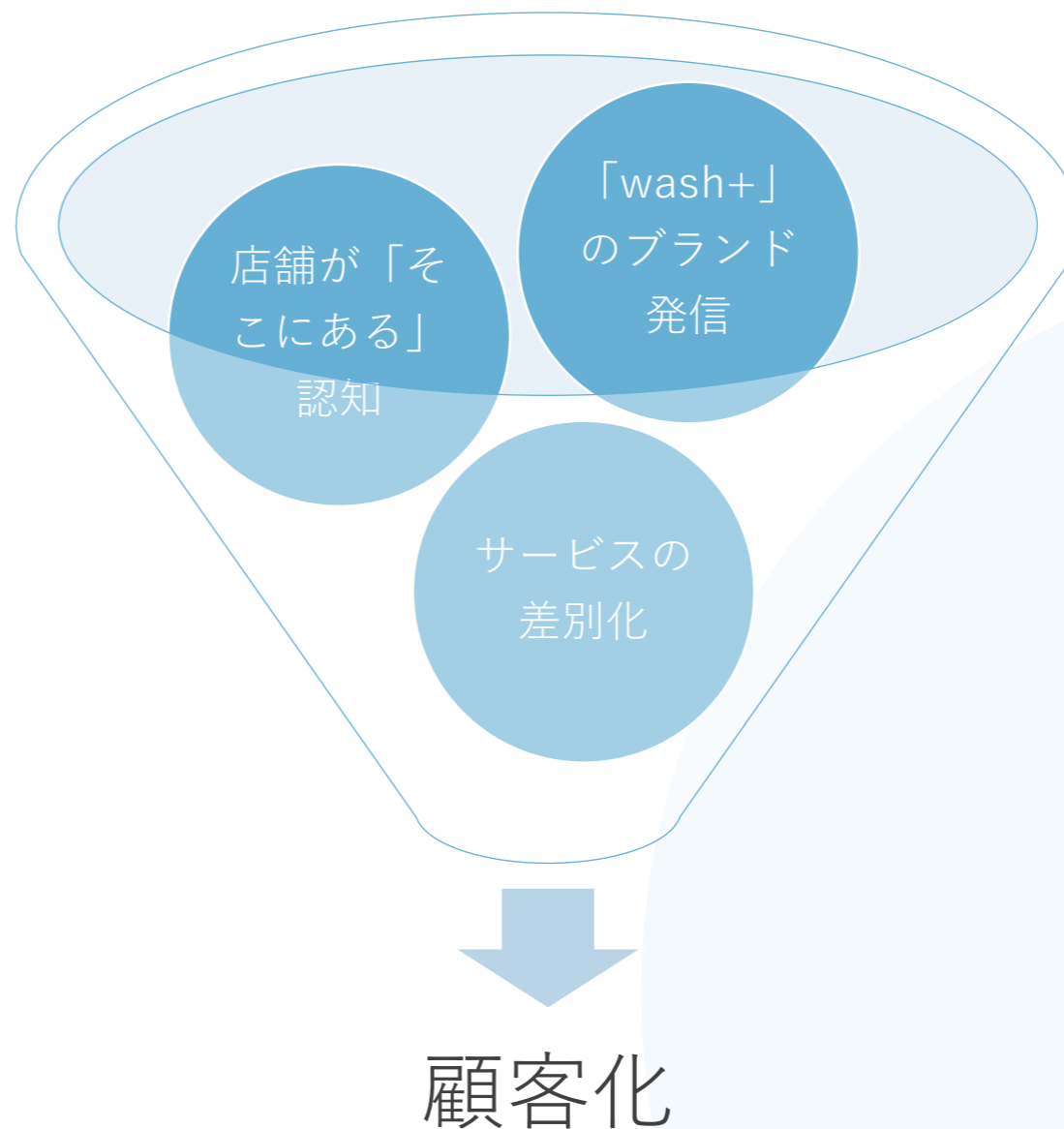
世界43カ国に申請中

(アメリカ・ヨーロッパ・中国を含む)



01.wash-plusが抱える課題

日常生活である
「洗濯」だからこそその
一過性でない
継続的な認知度向上策



01.wash-plusが抱える課題

23年1月クレープ店舗併設ランドリーを開店



コインランドリー併設型小売店舗が有効と分かった

01.wash-plusが抱える課題

コインランドリーの
存在の認知



クレープ店の
存在の認知

- 広告の伝達が共通しない
- 年齢層が一部共通している
- 「徒歩圏内でなくても良いものを求める」志向が共通している



- 現地に出向く（行ってみたらそこにあった）きっかけ作りの相乗効果
- 無人店舗に有人サービスがある安心感

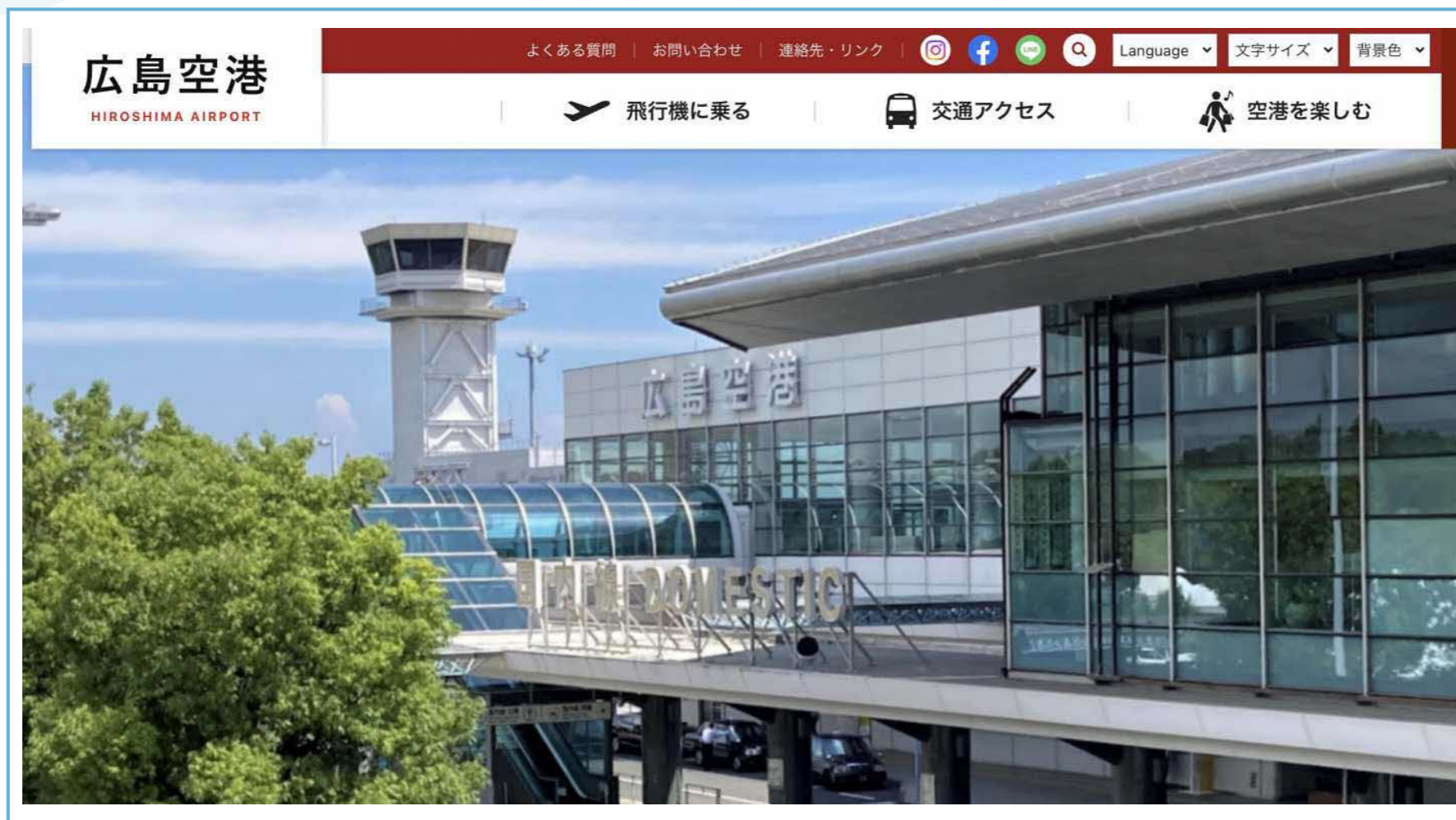


「wash+」「タカハシクレープ」双方の
ブランド力が他社と差別化できている



双方が顧客を獲得し売上アップ

02.三原市とのつながり



広島空港のHPより

コインランドリー機器メーカーとの打ち合わせで頻繁に広島空港を利用

02.三原市とのつながり

今月のコラム
第22回

市長 × トップセールス

三原の魅力为全国へ
アピールします！



三原の魅力をアピールするためには、市長自らが行動することが大切であると考えています。そのため、私が東京へ出張する時には、市長の重要な任務の一つとして、市のPR活動を積極的にこなしています。

令和4年度の東京出張の回数は、コロナの感染状況を見極めながら14回に及びました。訪問先は多岐にわたり、地元選出の国会議員や政府関係者、民間事業者など、三原に縁のある人たちと幅広く面会や交流を行いました。令和4年12月には首相官邸にも伺って岸田首相に面会し、三原の抱える課題を伝えるだけでなく、「広島みはらプリン」や「三原だるま」などの三原の魅力もしっかりとアピールしてきました。

また、地方に関心の高い人たちとの意見交換や連携も積極的に行なっています。これまでも日本離島センターや地方でのワークショップを模索する事業者と連携を進めてきました。また新たに、水上スポーツの普及や、首都圏での情報発信の拠点整備

に取り組む団体や事業者との連携を強化するなど、三原により多くの活力を呼び込んでくれる人たちに、三原をアピールしてきました。

出張中には、移動中の隙間時間などに、オンライン会議やビジネスチャットを活用し、市役所の内部協議も並行して行なっています。

東京一極集中と言われて久しいですが、人・モノ・金・情報が集まる東京から、三原の活性化につながる有益なものをつかむことができるように、市の代表として、今後もしっかりと飛び回ります。



広報みはら7月号より

岡田市長との意見交換の場に同席する機会があり熱い思いをお聞きする

02.三原市とのつながり

- 代表の高梨が市川商工会議所勤務時に地域振興を担う業務を担当
- wash-plusには地元浦安市で地域振興やまちづくりに関する事業に携わった経験者が多い
- 「地域を盛り上げたい」「行政と民間が良い関係の中で一体となって地域振興に関わりたい」という気持ちは地域が違って同じ

企業として持っている課題

店舗の認知力向上に向けた取り組み

企業として持っている可能性

三原市のPRを解決する手法

wash-plusのポテンシャルが三原市のPRの一助になるのでは



「民間企業主導のアンテナショップ」を発案

03. 実現化に向けたテスト

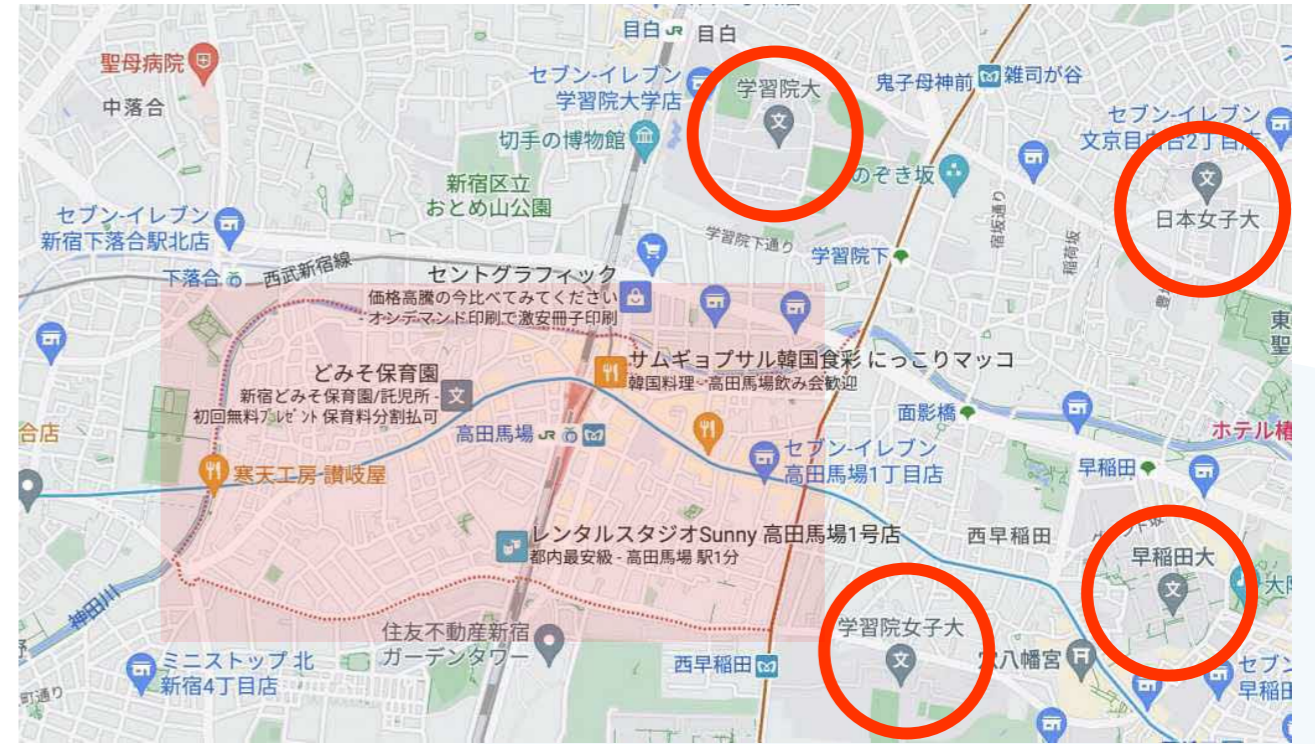
浦安市内のイベントで試験販売。

約5時間で**628個完売**、**約20万円**の売上を達成



認知向上のタイミングはその地元が一番知っている

04. 今後の展開



新宿区高田馬場は有名大学に囲まれ
若い世代の活気に満ちた文京地区

不動産業から始まった企業の強みを活かして店舗展開に有効な土地探し

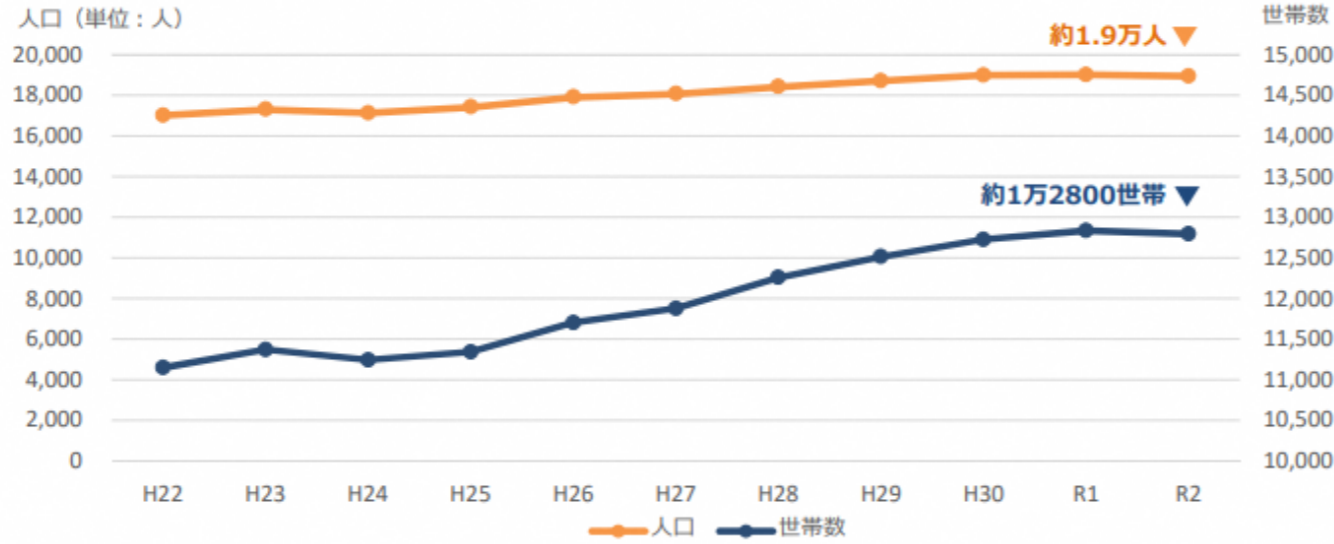


「日本一の繁華街」新宿区

04. 今後の展開

高田馬場の人口・世帯数はともにやや増加傾向（令和2(2020)年は微減）。

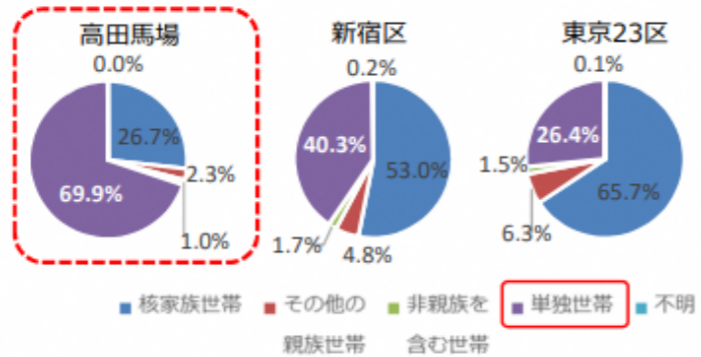
■ 高田馬場の人口と世帯数の推移



※集計の範囲は、高田馬場一丁目～四丁目。
出典：新宿区公表住民基本台帳より作成 ※数値は住民基本台帳の各年1月の値を用いた。

単独世帯の割合が約70%と高い。

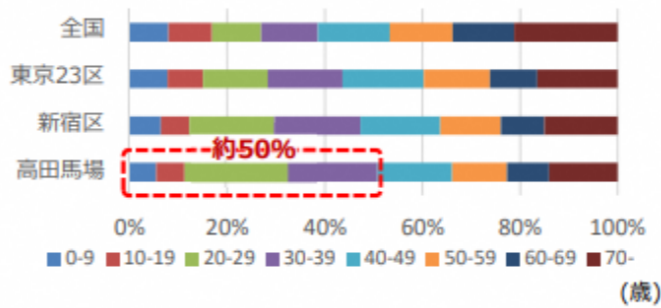
■ 高田馬場の世帯タイプの割合



※高田馬場は、高田馬場一丁目～四丁目を集計。
出典：平成27(2015)年 国勢調査より作成

30代までが約半数を占めており、若年層の割合が高い。

■ 人口構成




※高田馬場は、高田馬場一丁目～四丁目を集計。
出典：住民基本台帳(令和2(2020)年1月)より作成

新宿区
「第1回 高田馬場駅
周辺エリアまちづくり
検討委員会」資料より

04. 今後の展開



現在の店舗候補地（東京都新宿区高田馬場4-34-3）



民間企業から発信する 「地域づくり」

そのさきがけに！

全国初の民間主導型 特産品販売ショopp 「リレーベース」

(株)空・道・港
(株)wash-plus
三原商工会議所
三原市

目次

- 01 リレーベース
- 02 アンテナショップ
- 03 事業内容
- 04 今後の展開



01

リレーベース

01

リレー
ベース

“全国初”の民間主導型 アンテナショップ

Point!

三原を全国にPRするための連携

三原市が課題の一つとして捉えている
「首都圏への三原市のプロモーション」
において、民間企業ならではの発想とコ
ラボレーションによって、特産品販売や
観光情報発信、ふるさと納税PRなどを
通して課題解決の一翼を担う。



02

アンテナシヨツプ

02

アンテナ
ショップ

アンテナショップ
↓
「自治体主導型」
特産品販売ショップ

※広島県はブランドショップ
店舗名「TAU」（東京 銀座）

利点と課題

利 点	課 題
首都圏の一等地に立地	各市町の販売面積に制約
県産品が多く集まる	個別のプロモーション力
アンテナショップの認知度	企画・運営の柔軟性
アンテナショップの信頼性	多店舗展開のハードル

02

アンテナ
ショップ

市区町村主体店舗で減少傾向

年度	都道府県 (独立店舗)	都道府県 (集合型店舗)	市区町村 (独立店舗)	市区町村 (集合型店舗)	独立店舗計	集合型店舗計	合計
平成20年(2008)	30		6				36
21年(2009)	33		10				43
22年(2010)	35		14				49
23年(2011)	37		16				53
24年(2012)	34		20				54
25年(2013)	38		16				54
26年(2014)	39		13				52
27年(2015)	42		13				55
28年(2016)	38	4	16	7	54	11	65
29年(2017)	38	4	18	12	56	16	72
30年(2018)	38	4	20	14	58	18	76
31年(2019)	39	5	21	14	60	19	79
令和2年(2020)	38	4	24	15	62	19	81
3年(2021)	37	4	25	5	62	9	71
4年(2022)	36	3	23	5	59	8	67

(一財) 地域活性化センター2022年調査「2022年度 自治体アンテナショップ実態調査報告」より抜粋

兵庫県は公民連携型で展開

公民連携型アンテナショップの認証 先行実施

- 首都圏で兵庫の物産等を取り扱う店舗等を**公民連携型アンテナショップ**として**認証【全国初】**
- 兵庫の**魅力発信力を強化し**、兵庫への**人・モノ・投資・情報の大きな流れ**を加速



令和5年3月15日時点で16店舗を認証



03

事業内容

03

事業内容

リレーベース（Relay Base）の由来と込めた思い

- relation(ship)
意味：関係、つながり
- relay
意味：リレー、中継
- base
意味：拠点

まちや人・食などを市外の人と結び付け
複数の関係者が同じGOAL（まちの活性化など）を見据え、
地域の枠を超えた連携を紡ぐ場所（事業）にしたい（造語）

03

事業内容

リレーベース（Relay Base）のコンセプト

- ・ ショップを通して新たな発見を
- ・ ショップを通してまちの魅力を
- ・ ショップを通して関係の創造を
- ・ ショップを通して経済の活力を
- ・ ショップを通して面での賑わいを
- ・ ショップを通して人生に豊かさを

03

事業内容

リレーベース（Relay Base）の特徴とキーワード

- 特徴1) 民×民による運営
- 特徴2) 自治体の取り組みも意識した施策MIX
(シティプロモーション、ふるさと納税などのPR)
- 特徴3) 単市の商品を販売(原則)
- 特徴4) 多面展開(複数店舗化)も見据えた広がりの可能性

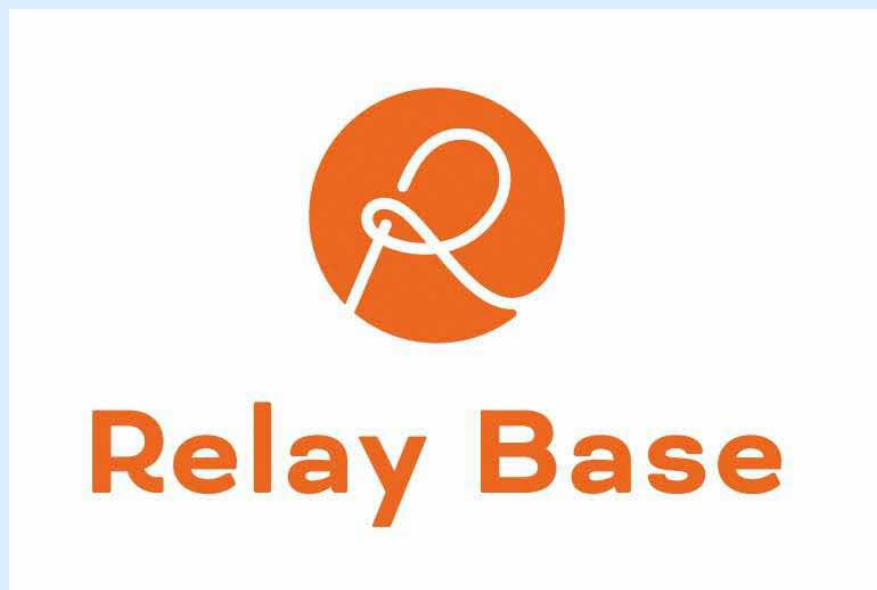
【キーワード】

- ①関係人口創出、シティプロモーション
- ②収益化＝継続性
- ③消費者シェアリング＝単市だけではなく面での賑わい(他市へも波及)

03

事業内容

リレーベース（Relay Base）のシンボルロゴ

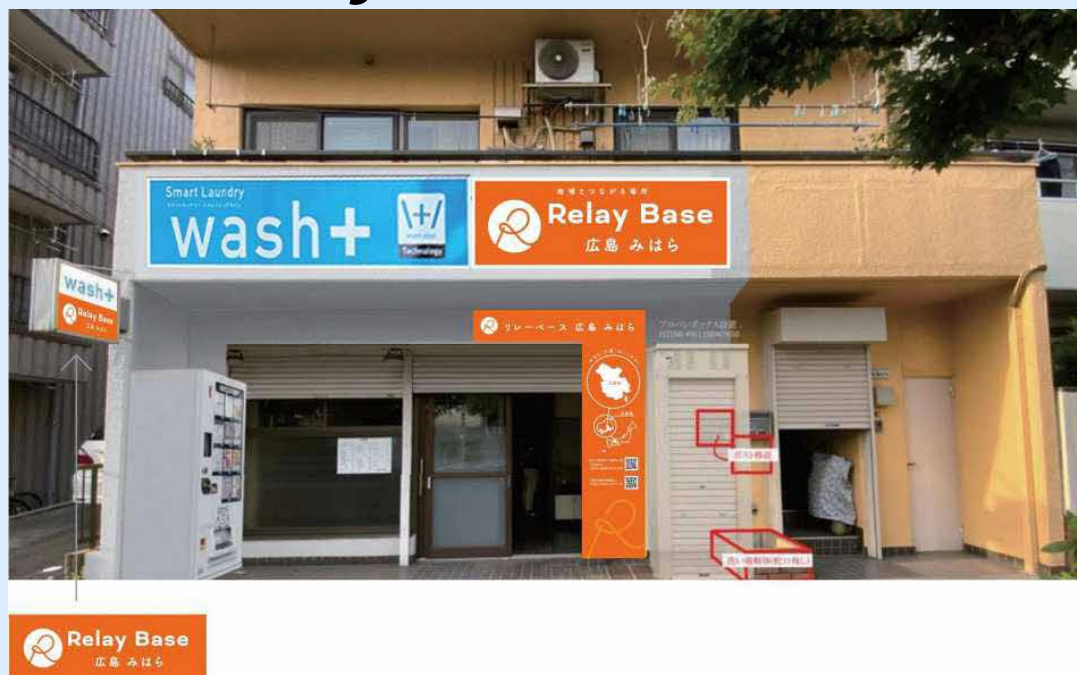


頭文字の「R」をモチーフに、1つのラインがクロスし、まちと人々が繋がっていくことを表現。そのまちに根付き親しまれている特産品（食品）を主に取り扱うことから、食の美味しさを訴求できる「オレンジ」をメインカラーに採用。

03

事業内容

リレーベース (Relay Base) の店舗イメージ (高田馬場店)



三原の位置関係やふるさと納税のHPリンクなども表看板に掲載。また、無人の時間帯でも三原の特産品が購入できるよう、冷凍自動販売機を設置する計画。(令和5年9月期にオープン予定)

03

事業内容

リレーベース（Relay Base）の運営

(株)空・道・港

全体所管
商品の選定・発送
出品者精算
販売員へのレク

三原のまちや商品の特徴
などを研修で伝え
モノ売り→コト売り化へ

サポート

売買基本契約締結

(株)wash-plus

店舗整備・管理
販売員確保
販売業務
売上管理・報告

三原商工会議所

全体サポート
出品者発掘
商品提案
情報発信支援

サポート

三原市

事業応援
各種情報媒体提供
情報発信支援

03

事業内容

(株)空・道・港（地域連携DMO）について

【会社概要】	
法人名	株式会社 空・道・港（そら・みち・みなと）
設立	2020年(令和2年)1月29日
代表者	代表取締役 森光孝雅（株式会社八天堂 代表取締役）
本社所在地	広島県三原市宮浦3-31-7
オフィス	<オフィス兼広島スカイポート営業所> 広島県三原市本郷町善入寺用倉山10064番196-2
代表電話番号	0848-60-8380
資本金	3,000万円
出資企業	株式会社八天堂(三原市)、株式会社住創(三原市)、テクノス三原株式会社(三原市)、株式会社阪井養魚場(三原市)、株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション(広島市)



04

今後の展開

04

今後の展開

他市でもこのスキーム（輪）を広げるため
リレーベース事業を公認制に

（例）市・商工会議所・観光協会などが応援文書を
発行することで公認付与（ロゴの使用許諾など）

リレーベース（Relay Base）＋まちの名前
という多面的な広がりを視野に

まちを盛り上げるのは
民間主導と自治体との連携から

リレーベース (Relay Base)

